

白 山

○概況（平成 17 年 10 月）

一時的な地震増加が見られましたが、山頂部に噴気は認められず火山活動は静穏に経過しました。

○地震の発生状況

10 月 3 日 13 時 59 分、白山山頂の西側約 2km 付近の浅いところを震源とするマグニチュード (M) 4.5（暫定）の地震が発生し、この地震により白山市白峰で震度 2 を観測しました。その後、この地震の余震と見られる M 2 未満の規模の小さな地震が 14 時台に 14 回発生しましたが、それ以降、地震活動はおさまりました。白山付近では、2005 年に入ってから 2 月、4 月及び 8 月に一時的な地震増加が見られていましたが、M 4 を超える規模の地震が発生したのは 1993 年 5 月 8 日の M4.2 以来でした。

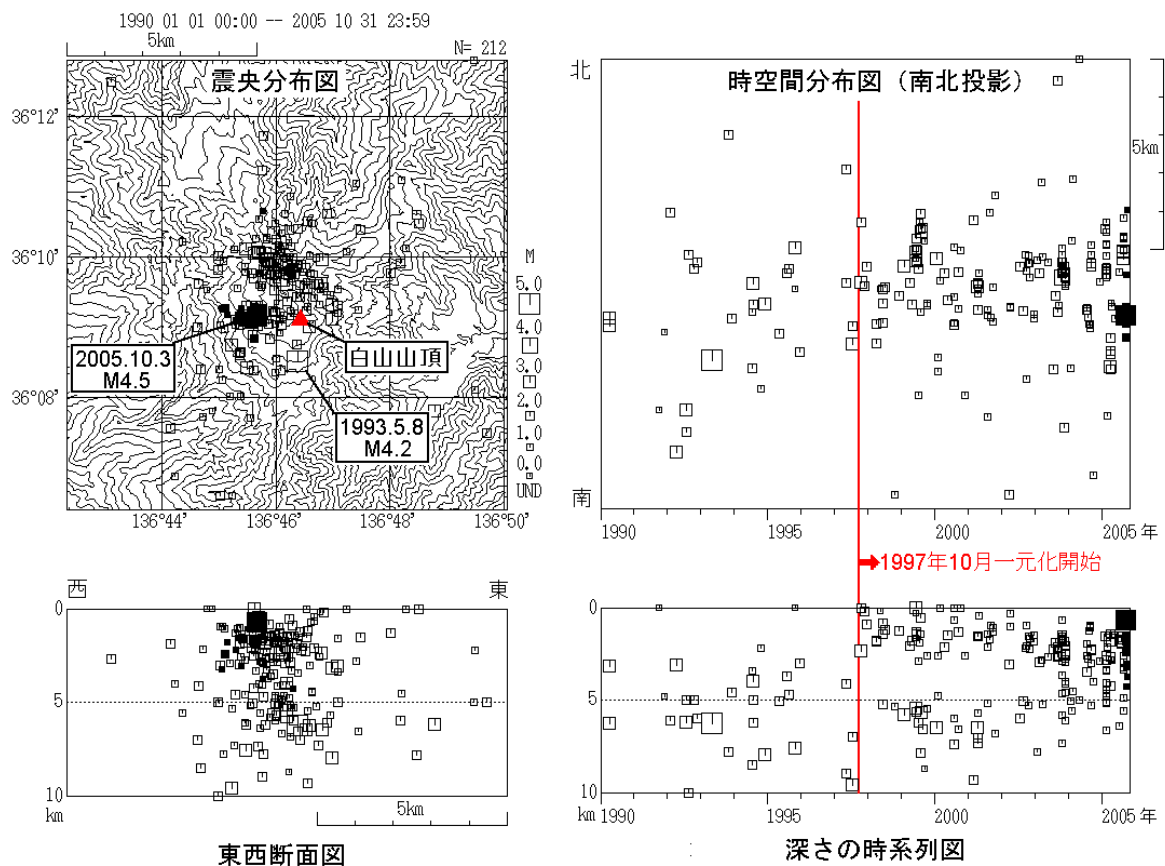


図 1 ※ 白山 震源分布図（1990 年 1 月～2005 年 10 月）

注）1997 年 10 月から、気象庁のほか、大学等の研究機関による地震波形データを一元的に収集して波形処理が行われることとなった（一元化）。これにより、震源決定能力が格段に向上した。

○噴煙の状況

国土交通省金沢河川国道事務所によると、山頂部に噴気は認められず、山麓の地熱地帯でも特に異常は認められていません。

※この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。

○地震観測点の設置

白山の火山活動を調査する目的で、国土交通省金沢河川国道事務所の協力を得て、山頂から南西側約 1.2km 地点の弥陀ヶ原に地震計を設置し、2005 年 10 月 18 日から気象庁地震火山部火山監視・情報センターに波形データの伝送を開始しました。

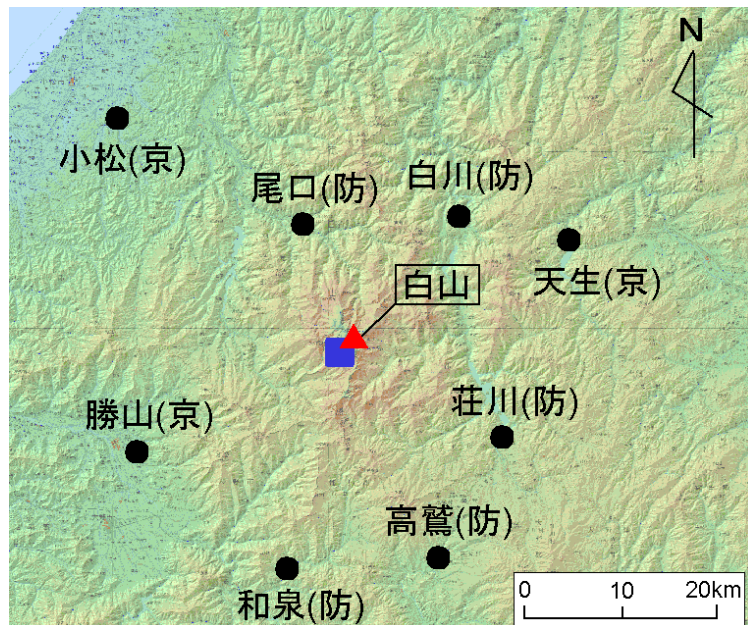


図 2 白山周辺の地震観測点配置

青四角：今回新設した気象庁地震観測点

黒 丸：関係機関による既存の地震観測点

（京）は京都大学、（防）は独立行政法人防災科学技術研究所の観測点を示す。

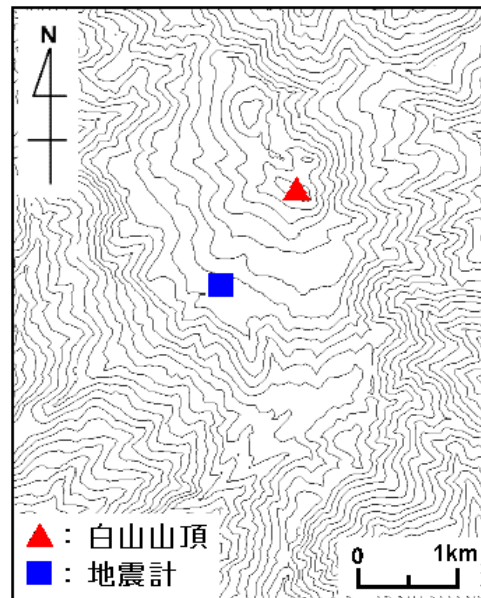


図 3 白山の気象庁地震観測点配置